§1 数量総括表

1-1 柱巻立て工

衽	ПII	1 11 1/ 2	出任	Ž	数 量		按 冊
種	別	規格	単位	P 1 橋脚		合計	摘要
コン	クリート	24-8-25	m^3	34. 5		34. 5	
	D51	SD345	t	8. 32		8. 32	
	D38	JJ	"				
	D32 • D29	IJ	"				
鉄筋	D25~D16	IJ	"	1. 47		1. 47	
	D13	JJ	"	0.07		0.07	
	合 計		"	9. 86		9. 86	
	ガス圧接	D51	箇所	44		44	
フロ	レア溶接	D16	箇所	150		150	L=160mm
注入樹脂	フーチング定着 アンカー設置工	φ 61 (D51)	箇所	28		28	L=1020mm エポキシ樹脂
アンカー	削孔数	φ 23 (D13)	箇所	130		130	L=220mm エポキシ樹脂
		先行掘削	本	24		24	
地型	盤改良工		本	56		56	二重管工法
		グラウト噴射型	式	1		1	処分・運搬・積込
			(m3)	211		211	
	床掘	盤下げ・A領域	m^3	400		400	
	床掘	B領域	"	320		320	
土工	床掘	C領域	11	110		110	
	埋戻工A	A領域	11	260		260	
	埋戻工C	B領域	"	540		540	
準備工	鉄筋探査工		m²	2		2	

1-2 仮設工

		種 別	規格	単位	数量	摘 要
		砂置換工	φ 1500	本	28	
		/r +⊏+r`1 -r	IVw型現場継手 なし	枚	30	
		矢板打込工	IVw型現場継手 1箇所	枚	36	
	鉬	周矢板(H=8000)	IVw型	t	3	(購入)
		n	II	"	22	(支給品)
	鉬	周矢板(H<6000)	IVw型	t	31	(購入)
鋼材重量	主部材	H-300×300×10×15	SS400	t	23	加工材
矢林	返引	矢板引抜工	IVw型	枚	66	
抜	工	矢板切断工	IVw型	箇所	36	
		鋼矢板スクラップ		t	56	

仮設道路・瀬替え工 数量表

1式当り

				12(1)
- 1	IB 16	224.41	W E	144
名 称	規格	単位	数量	摘要
			1000	
仮 設 道 路 工	流用土掘削	m3	1200	
	流用土運搬			
	L=2km	m3	1200	
	シート養生			
	左岸側	m2	616	
	コルゲートパイプ			
	ϕ 600	m	11	
	盛土(左岸)	m3	1100	
	法面整形(左岸)	m2	480	
	路盤工(左岸側)			
	RC-40, t=20cm	m2	440	
瀬を替えて	掘削(瀬替え部)	m3	5100	
	法面整形(瀬替え部)	1110		
	切土法面	m2	580	
	3. — L —	1112		
撤去工	埋戻し(瀬替え部)	m3	5100	
111/	100 (100 p. 101 p.	1110	3100	
	盛土撤去(左岸)	m3	1100	
	残土運搬	ШЭ	1100	
	L=2km	m3	1500	
	残土処理	1110	1000	
	处 分地	m3	1500	
	たり地	III9	1000	

RC巻立て(直線部: 250mm, 円弧部: 250mm)

1) コンクリート

$V_1 =$	2.00	×	3.30	×	11. 40			=	75. 2 m ³
$V_2 =$	$\pi/4$	×	2.00^{2}	X	11.40			=	35.8 ^{m³}
既設柱控除=	- 1.50	×	3.30	\times	11.40			=	-56. 4 m ³
<i>n</i> =	$-\pi/4$	×	1.50^{2}	\times	11.40			=	−20. 1 ^{m³}
						合	計	=	34. 5 m ³

2)	型枠				
(1) –	一般型枠				0
$A_1 =$	3.30	× 11.40	×	2	$=$ 75. 2 m^2
A2 =	0.01	\times 3.30	X	2	$=$ 0.1 m^2
					合 計 = 75.3 ^{m²}
(2) 円	月形型枠(I	R=1000)			
A3 =	π	× 2.00	×	11. 40	$=$ 71.6 m^2
					型 枠 合 計 = 146.9 m ²
					⊥ п н п т т т т т т т т т т т т т т т т т

3) 鉄 筋(SD345)

(単位:kg)

R.		\	+ L · Ns/
	鉄筋質量	小 計	ガス圧接
D 5 1	8324	8324	44箇所
D 3 8			
D 3 2			
D 2 9			
D 2 5			
D 2 2			
D 1 9		1470	
D 1 6	1470		
D 1 3	70	70	
合計		9864	44箇所

4) フレア溶接

箇所 D16 L=160mm 150 n =

注入樹脂アンカー 5)

鉄筋径 D51 :

削孔径 D + 10mm = 61mm

直線部 円弧部 28 + 0 = 28箇所 削孔数

 $28 \times 1.02 \text{m} = 28.560 \text{m}$ 削孔延長

> 定着樹脂 $28 \times \pi/4 \times (0.061^2)$

(エポキシ樹脂) \times 1200kg/m³ \times 1.09 = 32.9kg

割増係数

鉄筋径 D13 :

削孔径 D + 10mm = 23mm

直線部 円弧部 76 + 54 = 130箇所 削孔数

 $130 \times 0.22 \text{m} = 28.600 \text{m}$ 削孔延長

 $130 \times \pi/4 \times (0.023^2 - 0.013^2) \times 0.195$ 定着樹脂

(エポキシ樹脂)

imes 1200kg/m 3 imes 1.10 = 9.5kg 割増係数

 $130 \times \pi/4 \times 0.023^2 \times 0.025$ \times 1200kg/m³ \times 1.10 = 1.8kg 割増係数

合 計 9.5kg + 1.8kg = 11.3kg

6) 下地処理(チッピング)

柱部 = 3.30 × 11.40 × 2 = 75.2
$$^{\text{m}^2}$$

 $n = \pi$ × 1.50 × 11.40 = 53.7 $^{\text{m}^2}$
底版部 = 3.30 × (0.20 + 0.05) × 2 = 1.7 $^{\text{m}^2}$
 $n = \pi/4$ × (2.00 2 - 1.50 2) = 1.4 $^{\text{m}^2}$
合計 = 132.0 $^{\text{m}^2}$

7) 地盤改良工

グラウト噴射型

汚泥処分量

土質: 砂質土 (N≤30)

$$T 1 =$$
 = 25 分
 $T 2 = (7.7m - 0.00m) \times 9 \%/m + 0.00 \times 2 \%/m =$ 69 分
 $T 3 = 1.5m \times (30 \%) \times 0.54 + 2 \%) = 27$
 $T 4 = 6.2m \times 2 \%/m$ = 12 分
 $T = 133$

作業条件による補正係数 f2+f3 0.05+0.1

$$f2 + f3$$

$$0.05\pm0.1$$

1日あたり造成長

$$\times$$
1.5 m = 3.9 ^m

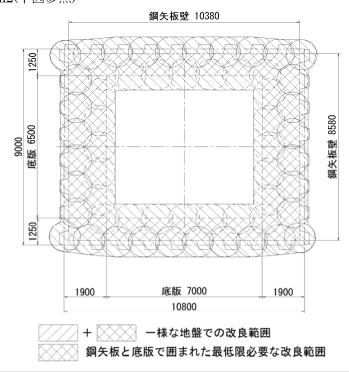
造成延日数

$$56$$
本 \times 1.50 m \div 3.9m

排泥処理数量の算出について

排泥処理数量は「ジェットグラウト工法積算資料」(日本ジェットグラウト協会)に基づいて算出する。ここで、本資料の算出方法は、一様な広がりをもつ土層を対象として設定されたものであるが、本現場は、締切鋼矢板と底版に囲まれた閉じた領域を改良するため、固化材が注入されない範囲を有する。 従って、数量計算上は最低限必要な汚泥処理数量とし、JSG造成時間T3と①造成による排泥数量V1に下記の係数を乗じて算出する。

(最低限必要な改良範囲) / (一様な地盤の場合の改良面積) = 0.54 $10.38 \times 8.58 - 6.50 \times 7.00 = 43.56 m2$ (下図参照)



(1) 排泥液処理量の算出基準

JSG 工法の排泥液は、次式により算出する。

 $\sum V = V_1 + V_2 + V_3$

①造成による排泥液量:V₁

 $V_1 = H \times v \times q_c \times (1 + \alpha)$

H : 造成延長 (m)

v:引き上げ時間(分/m)

qc : 硬化材吐出量 (0.06 m³/分)

α:增加率砂質土 0.1

粘性土 0.3

②削孔による排泥量: 1/2

 $V_2 = \Sigma \left\{ (T_2 - \ell_1 \times t') \times q \times \gamma \right\}$

T2:1本当たりの削孔時間 (分/本)

ℓ1:空掘部 (m)

q :削孔ポンプ吐出量 (0.04 m³/分)

γ : 排泥率 0.5

t':空掘部挿入時間(2分/m)

ジェットグラウト工法技術資料・積算資料(日本ジェットグラウト協会)より抜粋

③プラント洗浄排液量: V₃

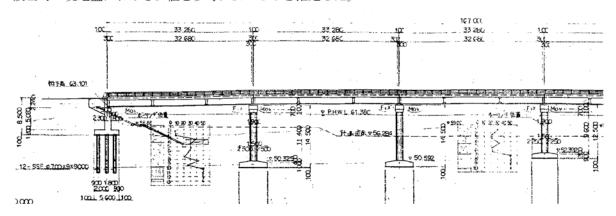
D₂: JSG 造成延日数 (日)

u:1日当たり洗浄排液量(2.0 m³/日)

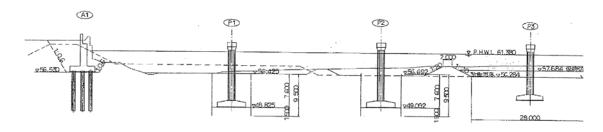
 $V_3 = D_2 \times u$

地盤定数について

改良範囲は橋梁建設時に埋め戻された地盤であるため、現地盤のN値は不明である。従って、橋梁建設当時の現地盤におけるN値を参考にN≒30と推定した。



既設橋一般図より抜粋



既設橋施工要領図より抜粋

8) 鉄筋探査工

(1) 床掘

盤下げ部

V
 =
 12.7 × (20.8m + 0.6m)
 =
 271.8 m³

 既設柱部控除
 =
 -
 3.3 × 1.5 × 0.8
 =
 -4.0 m³

$$\eta$$
 =
 -
 π /4 × 1.5² × 0.8
 =
 -1.4 m³

 =
 -
 266.4 m³

A領域(施工基面から最上段切梁の下部1m以下の部分)

小計=
$$266.4 + 135.7 = 402.1 \text{ m}^3$$

B領域(施工基面から5m以下の部分)

C領域(施工基面から5mを越え20m以下の部分)

全合計 =
$$827.4 \text{ m}^3$$

A~C控除せず合計 = 602.6 m^3

(2) 埋戻し

埋戻工B領域

$$V1 = 2.0 \times 3.3 \times 6.2 = 40.9 \text{ m}^3$$

 $V2 = \pi/4 \times 2.0^2 \times 6.2 = 19.5 \text{ m}^3$
合計 = 60.4 m³

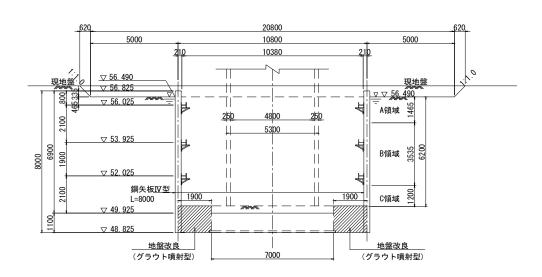
小計 =
$$602.6 - 60.4$$
 = 542.2 m^3

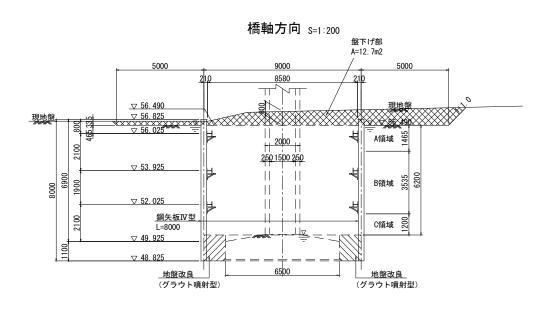
(3) 不足土

P1橋脚

9) 土工

橋軸直角方向 S=1:200





P1橋脚

砂置換工

砂置換本数(φ1500 L=7.7m)

28 本

埋戻し砂

0.75*0.75*3.14*7.700=13.60

13.60*28=380.8

_

380.8 m3

1. P1橋脚仮設工

1. P1橋朋			E シ ()	光片所見	业, 目.	二二十47.	ff: 目. /1 \	₩
鋼種	種別	断面	長さ(mm)	単位質量	数量	ヶ所数	質 量(kg)	摘 要
鋼材重								
• 鋼矢	仪	取7ヂ川	4500	106.00	26		17179	
SY295 "		IVw型 "	4500 3500	106. 00 106. 00	36 36		17172 13356	
"		"	8000	106.00	4		3392	購入
"		"	8000	106.00	26		22048	支給
			0000	100.00	10	$\Sigma =$	55968 kg)
							00000 Ng	
• 腹起	L							
SS400	Н	$300\times300\times10\times15$	9980	200.00	4		7984	腹起し(加工材)
]]	Н	$300\times300\times10\times15$	8180	200.00	4		6544	IJ
]]	Н	$300\times300\times10\times15$	10080	100.00	2		2016	IJ
IJ	Н	$300\times300\times10\times15$	8280	100.00	2		1656	IJ
						$\Sigma =$	18200 kg	
・火打	<u>ち</u>							
SS400	Н	$300\times300\times10\times15$	1000	100.00	12		1200	火打梁(加工材)
SS400	Н	$300\times300\times10\times15$	3000	100.00	12		3600	火打梁(加工材)
						$\Sigma =$	4800 kg	
・主部	材合計					$\Sigma =$	23000 kg	
• 副部	材(A)	主部材×0.22					5060 kg	
・副部	材(B)	主部材×0.04 I					920 kg	
· 鋼矢	板現場	易継手 				36ヶ所		
		<u> </u>	<u> </u>					

鋼 種	種別	断	面	長さ(mm)	単位質量	数量	ヶ所数	質 量(kg)	摘 要
	仕訳								
	鋼矢板	IVw型						56.0 t	
	鋼材								
		H-300×300	0×10×15					23.0 t	加工材
	副部材	(A)						5.1 t	
	副部材							0.9 "	
	Щ1ПКК1	(D)						0.0	
・鋼矢	板現場	揚継手					36ヶ所		

			土工							1 =	弋当たり
名 称					計	算	式			単位	数量
流用土掘削運搬	V	=	盛土 (左岸) 1067.1 ÷	0.9				=	1185.7	m^3	1200
盛土(左岸)	V	=						=	1067.1	m^3	1100
盛土撤去(左岸)	V	=						=	1067. 1	\mathtt{m}^3	1100
掘削(瀬替え部)	V	=						=	5115. 2	m^3	5100
埋戻し(瀬替え部)	V	=						=	5115. 2	m^3	5100
残土運搬			瀬替掘削	瀬替埋戻	砂體	置換	柱巻立不	足分			
			5115. 2 -	5115.2 +	- 38	0.8 -	61. 5	÷	0.9		
			:撤去(左岸) 1067.1 +(× 0	. 20)		=	1466. 7	m^3	1500

土量計算書

(1)

		ß	盛土 (左岸)					
測 点	区間距離	断面積	平均断面	立積	断面積	平均断面	立積	摘要
	(m)	(m^2)	(m^2)	(m^3)	(m^2)	(m^2)	(m^3)	
	><	0.0						
	34. 7	31. 7	15. 86	550. 3				
	10.0	31. 7	31. 71	317. 1				
	12. 6	0.0	15. 85	199. 7				
小計				1067. 1				

土量計算書

(2)

		盛	土(瀬替え音	(3)	掘削	削(瀬替え部	3)	
測 点	区間距離	断面積	平均断面	立積	断面積	平均断面	立積	摘要
	(m)	(m^2)	(m^2)	(m^3)	(m^2)	(m^2)	(m^3)	
	><				0.0			
	50. 4				55. 6	27. 80	1401. 1	
	28.8				55. 6	55. 60	1601. 3	
	76. 0				0.0	27. 80	2112.8	
小計							5115. 2	

	_		法面工								1	式当	たり
名 称					Ī	計	算	式			単位	数	量
法面整形 (左岸)	Α	=							=	479. 2	\mathbf{m}^3		480
法面整形(瀬替え部)	Α	=							=	577.8	\mathbf{m}^3		580

面積 計 第 書

(1)

		法面整形 (左岸)						
測 点	区間距離	長さ	平均長	面積	長さ	平均長	面積	摘要
	(m)	(m)	(m)	(m2)	(m)	(m)	(m2)	
	><	0.00						
	34. 7	14. 24	7. 120	247. 1				
	10. 0	14. 24	14. 240	142.4				
	12. 6	0.00	7. 120	89. 7				
小計				479. 2				

面積 計 算 書

(2)

		法面整形		盛土部	活 法面整形 (瀬替え部)		切土部	
測 点	区間距離	長さ	平均長	面積	長さ	平均長	面積	摘要
	(m)	(m)	(m)	(m2)	(m)	(m)	(m2)	
	><				0.00			
	50. 4				6. 28	3. 140	158. 3	6. 28=3. 73+2. 55
	28.8				6. 28	6. 280	180. 9	
	76. 0				0.00	3. 140	238. 6	
小計							577.8	

名称	規格寸法・計算式			数量
路盤工 RC-40,t=20cm	左岸 (10.0+37.0+61.9)×4.0	=	435.600	440 m2
シート養生	左岸	=	615.800	616 m2

面積 計 第 書

(1)

		シート養生						
測 点	区間距離	長さ	平均長	面積	長さ	平均長	面積	摘要
	(m)	(m)	(m)	(m2)	(m)	(m)	(m2)	
	><	0.00						
	34. 7	18. 30	9. 150	317. 5				
	10.0	18. 30	18. 300	183. 0				
	12. 6	0.00	9. 150	115. 3				
小計				615.8				